ＷＥＨノズルＴＫ１９　Ｈ２　７０ＭＰａ

取扱説明書

２０２５年　１０月

株式会社ハマイ

Ｎｏ．２０４３－②

目次

ページ

１．製品の概要 ―――――――――――――――――――――――――――――――― ２

２．製品の仕様 ―――――――――――――――――――――――――――――――― ２

３．安全上の注意 ―――――――――――――――――――――――――――――――― ３

４．各部の名前及び設置 ―――――――――――――――――――――――――――― ４

５．取扱い方法 ―――――――――――――――――――――――――――――――― ５

６．トラブルシューティング ―――――――――――――――――――――――――― ６

７．メンテナンスについて ―――――――――――――――――――――――――――― ８

８．お問合せ ―――――――――――――――――――――――――――――――― ８

１．製品の概要

ＷＥＨノズルＴＫ１９（以下「製品」と呼ぶ）は、圧縮水素燃料自動車用の水素ステーションで車輌（ＦＣＶ）に充填する設備の一部として使用されるディスペンサーに設置され、圧縮水素燃料自動車の充填口に接続して圧縮水素の充填を行う為の機器です。

２．製品の仕様

適用基準　：　高圧ガス保安法一般高圧ガス保安規則

設計圧力　：　８７．５ＭＰａ

常用圧力　：　８２．０ＭＰａ

設計温度　：　－４０～＋８５℃

常用温度　：　－４０～＋４０℃

使用ガス　：　可燃性ガス（水素ガス）

付属機器　：　通信機器（ＩＲデバイス）　※ＴＩＩＳ認証取得

接続形状　：　（高圧ホース側）　９／１６－１８ＵＮＦ
（レセプタクル側）ＳＡＥ　ＴＩＲ　Ｊ２７９９

製品重量　：　約３ｋｇ

制限事項　：　①充填回数１０万回を超える継続使用はできません。
②ご使用開始１年経過時、以降は充填回数１００００回、又は２年の使用の何れか早い段階で全ての消耗部品の交換が必要です。

３．安全上の注意

ご使用前に、「安全上の注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

■「１．製品の概要」や「２．製品の仕様」に示す用途以外には使用しないで下さい。

■製品に認められた損傷、及び正常に機能しているか否かに関する疑問がある場合は、その要因等が明確になるまで使用しないでください。

注）要因等の確認のために分解しないでください。

■車輌の燃料補給口（レセプタクル）にノズルを取り付けた状態で車輌が発進しディスペンサーから離れてしまった場合、燃料補給口（レセプタクル）や高圧ホースの損傷が懸念されますので、使用されている燃料補給口（レセプタクル）及び高圧ホースの取扱い方法に従って安全を確認してください。ノズルについては損傷有無の点検が必要ですので、直ちに使用を中止して販売元にご相談ください。

注）損傷有無の点検をせずに継続使用した場合、重大な事故に繋がる恐れがありますので、必ず販売元にご相談の上安全を確認してください。

■車輌の燃料補給口（レセプタクル）にノズルを取付ける際には過大な力を加えないでください。

■危険な操作状況が想定される場合、適切な安全対策を講じた上でご使用ください。

■車輌の燃料補給口（レセプタクル）へのノズル脱着は正しい手順に基づき確実に操作してください。

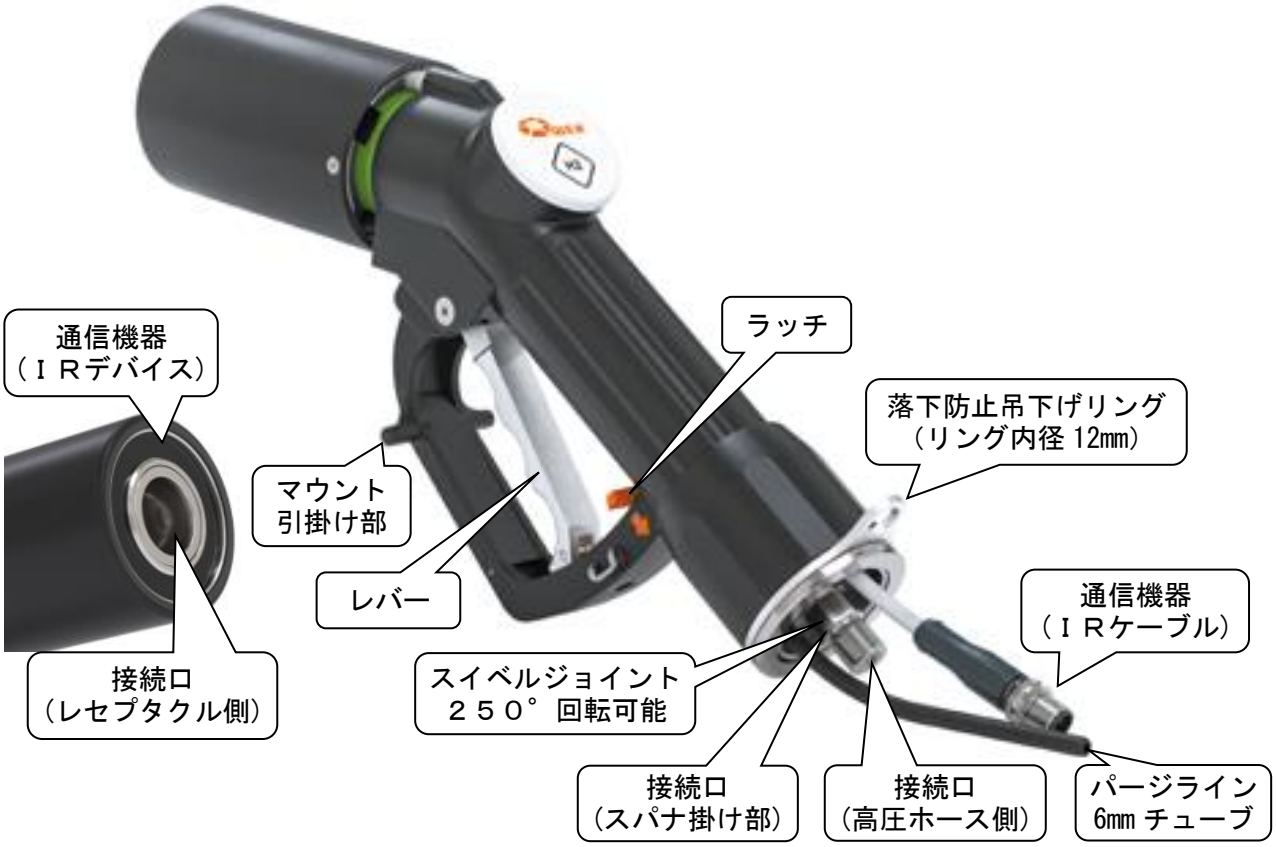
注）正しい手順で脱着が実施されない場合、充填中のガス漏れ、ノズルの脱落や重大な事故に繋がる恐れがありますので、確実な操作をお願いします。

■予備品として製品をお持ちの場合、製品に損傷を与えず、塵埃の進入を防止し、高温環境とならないなど保管状態にはご注意願います。

注）不適切な保管が為された製品は本来の機能・性能を発揮できない恐れがあるのと同時に危険な状態に陥る恐れもありますので、ご注意ください。

４．各部の名前及び設置

製品を使用する際は、「各部の名前」とともに注意していただくことをお知らせしています。「５．取扱い方法」 と合わせてお読みください。



製品をディスペンサーに設置する際には、接続口（高圧ホース側）のねじ部「９／１６－１８ＵＮＦ」に高圧ホースの継手をしっかりと接続してください。この接続口への締付は４０Ｎ－ｍを超えない範囲で行ってください。また、締付の際には接続口の根元部に設けられているスパナ掛け部を用いて部品に回転力が伝わらない様に行ってください。

高圧ホース接続後、接続部における気密確認を確実に実施するとともに、製品の操作に支障が無いことを確認してください。
製品の操作に関しては、「５．取扱い方法」を参照ください。

注）気密性や操作への影響有無の確認を行わず運用を開始した場合、充填中のガス漏れや重大な事故に繋がる恐れがありますので、ご注意ください。

本製品にはパージラインを備えております。外径 6㎜ 用チューブコネクターをご使用ください。（別途ご用意ください。）
窒素または乾燥空気（露点-40℃未満）を製品接続口からレセプタクル外面に流し続け、冷却されたノズル、レセプタクルへの大気中の水分の付着及び結露を緩和します。（推奨流量：500ℓ/h）
※流量などの使用条件により流体の流れる音が発生する場合があります。
※本機能は凍結に対する措置として設けておりますが、凍結防止を保証するものではありません。
※パージラインを引っ張らないでください。破損の原因になります。

５．取扱い方法

製品の取扱いは、「取扱い方法」をよくお読みの上、正しくお使いください。
摩耗、損傷並びに誤操作を避け安全にご使用頂いただく為に、ご使用の都度、点検又は確認してください。「６．トラブルシューティング」と合わせてお読みください。

■ノズルをディスペンサーから持ち上げ、ノズルを車輌の燃料補給口（レセプタクル）に真っ直ぐに奥まで差込んでください。



注）奥まで差し込まないとロック状態にならない場合がありますので、ご注意ください。

■レバーを軽く引き、最後まで握るとレバーがラッチに掛かりロック状態となります。**正常にロックされた場合、緑色のリングが現れます。**レバーを容易に引くことが出来ない場合は車輌の燃料補給口（レセプタクル）から一度取り外して最初から操作してください。



注）ロック状態とならない場合は充填中のガス漏れや重大な事故に繋がる恐れがありますので充填行為をしないでください。

注）ロック状態にした後、ノズルを回転させないでください。



■緑色のリングが現れ、且つ以下の注意事項の作業での確実な接続状態が確認されましたら、ディスペンサーの取扱い要領に従い充填を開始してください。



注）ロック状態にした後、ノズルを後方へ数回引張り、確実な接続状態であることを確認してください。

■充填終了後、ディスペンサーからの加圧が停止し、ノズル及び高圧ホースの脱圧が完全に為されたことを確認してください。脱圧確認後、ラッチを製品に表示されている矢印方向に操作することでレバーが戻りロックを解除できます。ロック解除後、ノズルを車輌の燃料補給口（レセプタクル）から引き抜き、ノズルをディスペンサーの所定の位置に格納して下さい。



注）充填中、また脱圧が完全でない時はロックを絶対に解除しないでください。レセプタクル接続の外れ、脱落、ガス漏れなどの重大な事故に繋がる恐れがあります。

６．トラブルシューティング

製品を安全にご使用いただく為、「トラブルシューティング」をよくお読みの上、ご使用の状況、環境、頻度等を考慮し正しくお使いください。

現象		考えられる原因	対処方法
1	ノズルがレセプタクルに装着できない	ノズル接続口やレセプタクルに塵埃等の異物が付着している	目視検査により塵埃等の異物が確認された際には、防塵製の布などで拭き取って下さい **注）溶剤は使用しないでください**
		ノズル接続口に有害なバリ等が生じている	目視検査により有害なバリ等が確認された際には、樹脂製の適切な道具で取り除いて下さい。 **注）先の尖った道具、或いは金属製の道具は使用しないでください**
		ノズルを傾けて装着している	レセプタクルに対して真っ直ぐに奥まで押し込んでください
		ノズル接続口が凍結している	常温下で凍結部品を溶かしてからお使い下さい **注）解氷剤、ドライヤー、お湯は使わないでください**
		ノズルのレバーが操作され「ロック」の状態となっている	レセプタクルに装着する際は「ロック解除」の状態でなければなりませんので、「５．取扱い方法」を参照の上正しくお使い下さい
		ノズルに加圧されている	加圧状態ではレセプタクルに装着できませんので、完全に脱圧してから「５．取扱い方法」を参照の上正しくお使い下さい
		ノズルのレバーが「ロック」の状態にならない	しっかり最後まで握ってラッチの動きを確認してください。 注）最後まで握ってもラッチが引っ掛からず「ロック」状態とならない場合には、適切なメンテナンスを実施して下さい。 **注）メンテナンスについては販売元にご相談下さい。**
		レセプタクルの保護キャップが装着したまま	保護キャップを取り外してからお使い下さい

現象		考えられる原因	対処方法
2	車輌に充填できない、又は充填が中断する	レセプタクルへの接続が不完全、又はレバーが「ロック」状態になっていない	「５．取扱い方法」を参照の上正しくお使いください。
		通信機器（ＩＲケーブル）が接続されていない、又は故障している	通信機器（ＩＲケーブル）をディスペンサー側へ正しく接続してください。 改善されない場合は、適切なメンテナンスを実施してください。 **注）メンテナンスについては販売元にご相談ください。**
		通信機器（ＩＲデバイス）の故障	ノズルをレセプタクルから取り外し、再度最初から操作してください。 改善されない場合は、適切なメンテナンスを実施してください。 **注）メンテナンスについては販売元にご相談ください。**
3	充填終了後、ノズルがレセプタクルから取り外せない	ノズル接続口が凍結している	常温下で凍結部品を溶かしてからお使いください。 **注）解氷剤、ドライヤー、お湯は使わないでください。**
		脱圧が不完全	ノズルの脱圧を完全に行ってください。 **注）脱圧が完全ではない状態で無理矢理取り外すと重大な事故に繋がる恐れがありますので、確実に脱圧が為されてから操作してください。**
		ラッチの動きが悪い、又は、ラッチを操作してもレバーが「ロック解除」状態とならない	ラッチの動きが悪い場合には、ラッチ付近をブローして、堆積した塵埃等を除去してください。 **注）問題が解決されない場合には、販売元にご相談ください。**
4	スイベルジョイントの動きが悪い、又は動かない	内部部品の異常	直ちに使用を中止し、適切なメンテナンスを実施してください。 **注）メンテナンスについては販売元にご相談ください。**
5	充填中、水素ガスが漏れる	シール部品の異常	直ちに使用を中止し、適切なメンテナンスを実施してください。 **注）メンテナンスについては販売元にご相談ください。**
6	外観が損傷している	乱暴な取扱い	損傷している部品の種類によって危険度が異なる為、販売元にご相談ください。 **注）損傷部品のメンテナンスを実施する必要性がある場合には販売元にご相談ください。**
7	落下防止吊下げリングが緩んだ	ノズルが落下した、乱暴な取扱い	ノズルに異常が無い場合、20～24N･m で締め付けてください。（六角二面幅 57㎜） **注）損傷部品のメンテナンスを実施する必要性がある場合には販売元にご相談ください。**

上記以外の現象が確認された場合は、直ちに使用を中止し、販売元にご相談ください。

７．メンテナンスについて

当該製品は、特別な道具・技術を有した者のみがメンテナンスを実施できる機器となっておりますので、ご使用者様での分解・修理はお止めください。

「６．トラブルシューティング」にて異常が確認され、メンテナンスが必要となった場合には、適宜メンテナンスを実施してご返却することになりますので、販売元にご相談ください。

メンテナンス実施の際には製品現品をお預かりすることとなりますので、可能な範囲で予備品をお持ち頂くことを推奨致します。

「２．製品の仕様」の制限事項にも記載されておりますが、製品に異常が認められない場合であっても、ご使用開始１年経過時、以降は充填回数１００００回、又は２年の使用の何れか早い段階で全ての消耗部品の交換を行う「定期メンテナンス」が必要です。 この定期メンテナンスにおいても販売元にご相談ください。
なお、メンテナンスの際に取外した部品は原則返却いたしませんので、予めご了承ください。

８．廃棄について

廃棄の際はご使用者様での分解等はせずに、適切に廃棄してください。

◆販売元

株式会社ハマイ
HAMAI INDUSTRIES LTD. SINCE1927

本社（営業部）
〒141-8512
東京都品川区西五反田 7-7-7 SG ｽｸｴｱ 2 階
TEL 03-3492-6655　FAX 03-3492-6660

◆製造元

WEH®

独国
ＷＥＨ ＧｍｂＨ Ｇａｓ Ｔｅｃｈｎｏｌｏｇｙ
Ｊｏｓｅｆ－Ｈｅｎｌｅ－Ｓｔｒ．１
８９２５７ Ｉｌｌｅｒｔｉｓｓｅｎ，Ｇｅｒｍａｎｙ

（記載内容は、予告なく変更することがあります。）